



校長室だより

黒部市立村椿小学校

令和8年9月30日

文責：校長 齊木 裕

運動会から子供たちが学んだこと

～競技や応援、ダンス、鼓笛隊を通して～

9月27日（日）に秋季大運動会がありました。運動会当日の子供たちの演技は、とても輝いていました。改めて本番に強いなと思いました。特に素晴らしいと思ったことは、運動会開始前の集合です。2週間前の集合では、6年生が声をかけても、なかなか並ぶことができず、時間がかかっていました。そんな中でも、低学年の子が「〇〇ちゃん、早く並ぶよ」と友達に声をかけていました。練習を重ねることで、声をかける子供も増えてきて、素早く集合しなければならないという意識も高まっていきました。そして、集合に時間がかからなくなっていきました。

4、5、6年生の前日準備を見ていても、7つのテントの運搬、組み立てを1時間もかからず完成させていました。このように、運動会に向けて子供たちの成長がたくさん見られました。主な成長した点は、下記のものであると考えます。

運動会を通して子供たちが学んだこと、成長したこと

- ・先を見通して、早く並ぼうとする意識が高まった。
- ・みんなで協力して応援、ダンス、演奏することで一体感をもった。
- ・他の学年の競技を一生懸命応援した。
- ・ゴールまであきらめず走り切った。
- ・自分の運動会の目当てに向かって、やりきった。
- ・係活動を一生懸命することで人の役に立つことを実感した。
- ・応援団で協力し合い、振り付けを考え、完成させた。



上記のものは、運動会に限らず、学習においても必要なことばかりです。学習では、友達の意見を認め合いながら、自力で問題をあきらめず最後まで取り組んでいくことが大切です。運動会で学んだことをこれからの学校生活に生かしていくことを期待しています。

お子様の家族の皆様、最後まで子供たちへの声援、励ましをしてくださり、感謝申し上げます。この声援が運動会で子供たちが学んだことへの後押しをしたことは間違いありません。さらには、村椿小学校のグラウンドの整備に関わってくださった保護者の皆様に感謝申し上げます。これからも、村椿小学校にご理解とご協力をお願いします。